

みずほCustomer Desk Report 2020/12/18 号(As of 2020/12/17)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	103.48	1.2196	126.26	1.3501	0.7570
SYD-NY High	103.56	1.2273	126.51	1.3625	0.7639
SYD-NY Low	102.88	1.2189	126.02	1.3499	0.7568
NY 5:00 PM	103.08	1.2270	126.50	1.3586	0.7627
NY DOW	30,303.37	148.83	日本2年債	-0.13	0.00bp
NASDAQ	12,764.75	106.56	日本10年債	0.01	0.00bp
S&P	3,722.48	21.31	米国2年債	0.122	0.40bp
日経平均	26,806.67	49.27	米国5年債	0.377	0.96bp
TOPIX	1,792.58	5.75	米国10年債	0.934	1.50bp
シカゴ日経先物	26,785.00	▲ 5.00	独10年債	-0.5785	▲ 0.90bp
ロンドンFT	6,551.06	▲ 19.85	英10年債	0.2850	1.35bp
DAX	13,667.25	101.27	豪10年債	1.0030	3.80bp
ハンセン指数	26,678.38	218.09	USDJPY 1M Vol	6.34	0.20%
上海総合	3,404.87	37.89	USDJPY 3M Vol	6.78	0.29%
NY金	1,890.40	31.30	USDJPY 6M Vol	6.93	0.16%
WTI	48.36	0.54	USDJPY 1M 25RR	-0.80	Yen Call Over
CRB指数	165.489	1.63	EURJPY 3M Vol	6.91	0.04%
ドルインデックス	89.82	▲ 0.63	EURJPY 6M Vol	7.05	▲ 0.04%

東京	東京時間のドル円は103.48レベルでオープン。前日のFOMC後のパウエル議長会見で今後の景気回復に対して慎重な見方をしていることが伝わったことで、ドル売り圧力が強まる展開。前日の下値(103.26)を更新して103.25まで下落した後、103.29レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、103.29レベルでオープン。FOMC後のドル売りが続中でドル円は下落。一時102.98円まで売られ、今年3月以来の103円割れとなった。若干買い戻され103.01レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	16日のFOMCでは資産購入の規模拡大は発表されなかったものの、パウエルFRB議長は記者会見で金融緩和の長期化を示唆しており、海外市場のドル円は103円台半ばでスタートし、ドル売り優勢の展開が続いた。欧州株や米株先物の堅調な推移を意識したリスク志向のドル売りもあいまって、早朝には約9ヵ月ぶりに一時103円を割り込み102.98をつけ、103.01レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が先週に続いて予想を上回るも、ドル円の反応は限定的で、海外時間のドル全面安の流れを引き継いだ。102.88まで安値更新するも、クロス円が軒並み底堅く推移する中、この水準で下げ渋り103円台前半まで買い戻される。午後は103円付近で動意乏しく推移し、103.08レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、1.2200付近でスタートし、パウエルFRB議長のハ派な発言やリスクオフの地合いを背景にドル売りが進み、一時1.2249まで上昇。「マクロン大統領、コロナ検査で陽性反応」とのヘッドラインは流れるも、ユーロドルは特段反応せず、1.2248レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、ドル売り優勢の展開。ペロン米下院議長が米景気対策を巡り、「今朝の協議で進展があった」と述べ、年内合意への期期待感が高まり、リスク志向のドル売りもあいまって、じりじりと1.2273まで高値を更新。終盤にジョンソン英首相の「EUが立場を変えない限りは合意なしの可能性が非常に高い」と伝わり、ポンド売りに連れ安となり小幅反落するも、結局買い戻され1.2270レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなすようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:加藤・小林 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

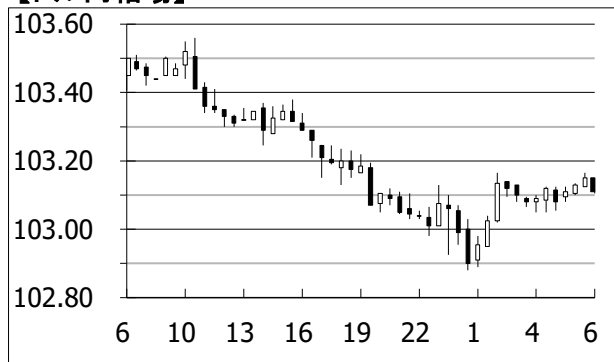
【昨日の指標等】

Date	Time	Event		結果	予想	
12月17日	09:30	豪	雇用者数変化	11月	90.0k	40.0k
	09:30	豪	失業率	11月	6.8%	7.0%
	19:00	欧	CPI(前月比/前年比)・確報	11月	-0.3%/-0.3%	-0.3%/-0.3%
	22:30	米	新規失業保険申請件数	12-Dec	885k	818k
	22:30	米	住宅着工件数(件数/前月比)	11月	1547k/1.2%	1535k/0.3%
	22:30	米	フィデリティ連銀景況	12月	11.1	20

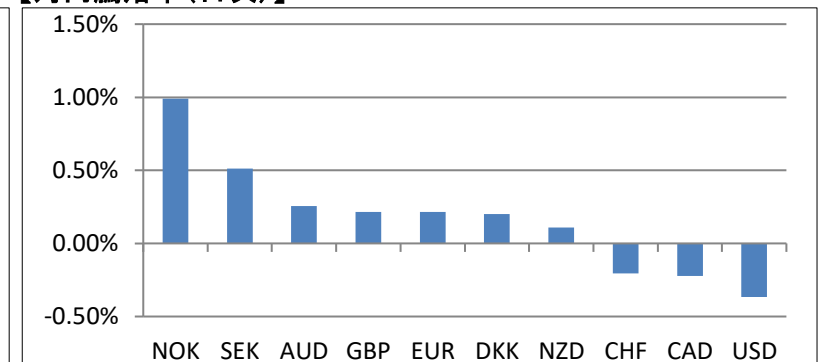
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月18日	08:30	日 全国CPI	11月 -0.8%	-0.4%
	09:01	英 GfK消費者信頼感	12月 -31	-33
	16:00	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	11月 -4%/4.1%	1.3%/7.8%
	16:00	独 PPI(前月比/前年比)	11月 0.1%/-0.6%	0.1%/-0.7%
	18:00	独 IFO企業景況感指数	12月 90	90.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.90-103.60	1.2200-1.2300	126.00-127.00

【マーケット・インプレッション】

リスク選好のドル売りはついにドル円にまで波及し、103円を一時割り込むまでドル売りが進行している。主要通貨に対する米ドルの相対的価値を示すドルインデックスは2018年以来の低水準となっている。ただし、年末にかけて市場の流動性が極端に減ってきており、投機筋のポジションがドルショートに傾いている足元ではここから年末にかけてドル円が一方向的に円高に向かうとは考えにくい。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐		
ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア		
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	鈴木	大谷	大庭	逸見	木村		ブル	ベア
ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ベア		7	14